

2018年4月20日

各位

会社名 株式会社 WDI
 代表者名 代表取締役 清水 謙
 (JASDAQ・コード 3068)
 問合せ先 取締役・管理本部本部長
 佐々木 智晴
 (TEL.03-3404-3704)

**通期連結業績予想の修正、及び営業外費用、特別損失、
 法人税等調整額の計上に関するお知らせ**

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2017年10月19日に公表いたしました2018年3月期通期（2017年4月1日～2018年3月31日）の連結業績予想を修正するとともに、2018年3月期通期において、営業外費用、特別損失、法人税等調整額を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

なお、配当予想につきましては、前回発表から変更ございません。

記

1. 2018年3月期 連結業績予想の修正

(1) 通期連結業績予想の修正（2017年4月1日～2018年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回予想 (A)	29,200	1,200	1,130	120	円 銭 18.95
今回修正 (B)	28,737	1,339	1,234	72	11.42
増減額 (B-A)	△462	139	104	△47	—
増減率 (%)	△1.6%	11.6%	9.2%	△39.8%	—
(ご参考) 前期実績 (2017年3月期)	27,158	1,476	1,459	326	51.60

(2) 修正の理由

営業利益及び経常利益につきましては、連結業績予想を上回る水準で推移いたしましたが、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、後述の「3. 特別損失の計上について」及び「4. 法人税等調整額の計上について」の影響等により、前回予想に比べ47百万円減少の72百万円となる見通しです。

2. 営業外費用の計上について

昨今の為替相場の変動により、為替差損62百万円を計上する見通しです。

3. 特別損失の計上について

店舗の改装、閉店及び「固定資産の減損に係る会計基準」に従って、業績低迷等により当初予定していた収益が見込めないと考えられる店舗の固定資産等について、減損損失153百万円、固定資産除却損22百万円、店舗閉鎖損20百万円を計上する見通しです。

4. 法人税等調整額の計上について

米国において成立した税制改革法の影響により、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、2018年3月期の繰延税金資産の一部を取り崩し、法人税等調整額として102百万円を計上する見通しです。

以 上